

呉高专と広島工校生 最先端技術に触れる

日本道路中国が赤石
トンネル舗装見学会

日本道路中国支店（澁谷博志執行役員支店長）は19、20の両日、同社が施工を進めている木原道路赤石トンネル舗



装工事（細田武志所長）の現場に呉高等高等専門学校と広島県立広島工業高校の生徒をそれぞれ招き見学会を開いた。

現場は、情報化施工を活用した連続鉄筋コンクリート舗装の作業を進めている。生徒たちは、スリップフォーム工法によるコンクリート打設を見学した。同工法は、型枠を使用することなくコンクリートを敷均しから締め固め、仕上げまでの一連の作業を1台の機械で施工することができる。最先端の技術を間近で見ることができると有意義な1日を過ごした。写真。

木原道路赤石トンネルは、中国地方整備局が広島県三原市に建設している国道2号バイパスの一部。工事概要は、トンネル長さ1215㍍、幅7・99㍍、工事区間長さ1375㍍、連続鉄筋コンクリート（スリップフォーム工）9710平方㍍、セメント安定処理9710平方㍍、排水構造物工（スリップフォーム工）円形側溝2388㍍、縁石工・ケーブル配管工など。2019年3月15日までの工期で作業を進めている。

